

みずほCustomer Desk Report 2019/07/19号(As of 2019/07/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.84
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.94	1.1227	121.18	1.2435	0.7008
SYD-NY High	108.01	1.1280	121.24	1.2558	0.7077
SYD-NY Low	107.21	1.1205	120.78	1.2429	0.7005
NY 5:00 PM	107.30	1.1276	121.00	1.2546	0.7076
NY DOW	27,222.97	3.12	日本2年債	-0.2000	▲1.00bp
NASDAQ	8,207.24	22.04	日本10年債	-0.1400	▲1.00bp
S&P	2,995.11	10.69	米国2年債	1.7539	▲5.63bp
日経平均	21,046.24	▲422.94	米国5年債	1.7657	▲4.48bp
TOPIX	1,534.27	▲33.14	米国10年債	2.0251	▲1.75bp
シカゴ日経先物	21,135	▲195	独10年債	-0.3110	▲2.20bp
ロンドンFT	7,493.09	▲42.37	英10年債	0.7590	0.15bp
DAX	12,227.85	▲113.18	豪10年債	1.3435	▲5.65bp
ハンセン指数	28,461.66	▲131.51	USDJPY 1M Vol	6.25	0.35%
上海総合	2,901.18	▲30.52	USDJPY 3M Vol	6.44	0.39%
NY金	1,428.10	4.80	USDJPY 6M Vol	6.56	0.31%
WTI	55.30	▲1.48	USDJPY 1M 25RR	-1.18	Yen Call Over
CRB指数	177.45	▲1.97	EURJPY 3M Vol	6.40	0.19%
ドルインデックス	96.79	▲0.43	EURJPY 6M Vol	6.78	0.16%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月18日	8:50	日 貿易収支	6月 ¥589.5b	¥403.5b
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	6月 1.0%/3.8%	-0.3%/2.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	216K
7月19日	4:00頃	米 クラリダFRB副議長「ことが悪化して劇的な連続利下げをするまで待つ必要はない」		
	4:11	米 トランプ米大統領「米海軍がイランのドローンを防衛の為撃墜」		

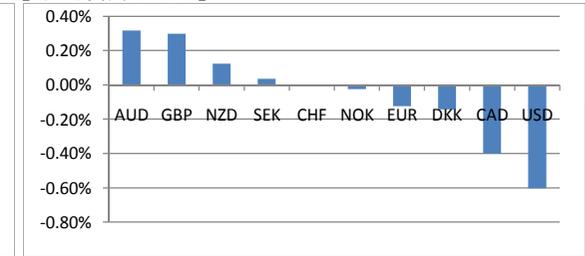
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月19日	8:50	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI	6月 0.7%/0.6%/0.5%	0.7%/0.8%/0.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	7月 98.8	98.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.80-107.60	1.1200-1.1300	120.30-122.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は下落した。アジア時間にドル売りが先行したドル円は、米7月フィラデルフィア連銀製造業景況指数の市場予想を上回る結果を受けて一時108.01まで回復。その後、ウィリアムズNY連銀総裁が経済に問題が生じている兆候があれば迅速に行動を起こすべきと述べた他、クラリダFRB副議長のハト派寄りの発言が材料視され、7月FOMCIにおける50bpの利下げ観測が強まったことに加え、「米海軍がイランのドローンを防衛の為撃墜」とのヘッドラインが伝わるとドル売りが優勢となり、一時107.21まで下落した。本日のドル円は下落を予想。7月50bpの利下げ観測を織り込みつつ、ドル円は徐々に下値を切り下げていく展開を見込む。交渉行き詰まり感を見せる米中通商問題や、中東を始めとする地政学リスクにも警戒したい。

東京	東京時間のドル円は107.94レベルでスタート。昨夜の米住宅指標の悪化を受けてFOMC7月会合における利下げの織り込みが進む中、ドル売りが優勢。米株安を受けた日経平均の下落もドル円の上値を重くし107円台後半でじりじりと値を下げる展開。仲値通過後、日経平均の下落幅が300円超となると107.70台までレベルを切り下げた。その後同レベルにてもみ合った後、107.68レベルにて海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.68レベルでオープン。アジア時間からの円買いが一服する中、欧州中央銀行がインフレ目標の見直しを検討との一部報道で緩和期待からユーロが売られ反動でドルが買われ一時107.91まで上昇し107.81レベルでNYに渡った。本日のドル円は、1.2440レベルでオープン。EUのバルネオ主席交渉官がアルラント国境の代替案策定の用意がある、と発言したことを受けてボト買いに。そのような中、英6月の小売売上予想比上振れるなどボト買いが続き一時1.2494まで買われ、1.2486レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	米中通商協議の手詰まり感から、海外市場で107.62まで下落したドル円は、ユードルが下落する動きに107.91まで戻し、107.81レベルでNYオープン。朝方は、107.74まで下押しするが、8時半に発表された米7月フィラデルフィア連銀製造業景況指数が予想を大きく上回ったことから、108.01まで戻す。しかし続いて発表の米6月先行指数が予想を下回ったこともあり、上値を重くし107.73まで下押しする。午後に入り、やや買い戻される局面もあったものの、トランプ大統領が「イランで大きな出来事があった」と話し、その後「米海軍がイランのドローンを防衛の為撃墜」とのヘッドラインが伝わり、また、同じくクラリダFRB副議長が「ことが悪化して劇的な連続利下げをするまで待つ必要はない」と予防的な利下げを肯定するような発言したことが伝わると、米金利低下を受けたドル売りが強まり、ドル円はサポートと見られていた107.50を抜け、107.21まで下落する。終盤に掛けては調整からやや値を戻すものの、戻りは遅く、107.30レベルでクロスした。一方、海外市場で狭いレンジでの推移が続いたユードルは、「ECBがインフレ目標の改定を検討」とのヘッドラインを受け、1.1205まで下落し、1.1220レベルでNYオープン。午前中は狭いレンジでの推移が続くが、午後に入り、前述のトランプ大統領の発言や、クラリダFRB副議長の発言を受け、一気にドル売りが持ち込まれ、ユードルは1.1280まで上昇する。終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.1276レベルでクロスした。(NY15:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。